

【イギリス】異性間シビル・パートナーシップ規則の制定

海外立法情報課 芦田 淳

* 2019年3月、それまで同性カップルに限定されていたシビル・パートナーシップ制度を異性カップルに拡大する法改正が行われた。2019年11月、当該改正を実施するため、所要の法改正を行う規則が制定された。

1 制定の経緯

イギリスでは、2004年シビル・パートナーシップ法¹（以下「2004年法」）により、同性カップルに対して婚姻に準じた権利及び責任を付与する「シビル・パートナーシップ」制度が導入された。さらに、「2013年婚姻（同性カップル）法」²（以下「2013年法」）により、イングランド及びウェールズにおいて、同性間の婚姻も認められることとなった³。その結果、同性カップルは婚姻とシビル・パートナーシップ制度のいずれかを選択できる一方、異性カップルには婚姻しか認められないという不均衡が生じることとなった。2018年6月、連合王国最高裁判所は、こうした従来の制度が欧州人権条約の保障する「私生活及び家族生活の尊重を受ける権利」に違反すると判示した⁴。この判決を契機に、2019年3月、シビル・パートナーシップ制度を異性カップルにも拡大する「2019年シビル・パートナーシップ、婚姻及び死亡（登録等）法」⁵が制定された。ただし、同法は、異性カップルに対してシビル・パートナーシップ制度を認めるのに必要な規則が2019年末までに施行されるよう、主務大臣に義務付けるにとどまり（第2条）、具体的な制度の見直しは当該規則に委ねられた⁶。

2 規則の要点

以上の経緯を踏まえ、2019年11月に制定された「2019年シビル・パートナーシップ（異性カップル）規則」⁷（以下「2019年規則」）は、全6部41か条、附則3編から成る。施行日は2019年12月2日で、適用範囲はイングランド及びウェールズである⁸。

* 本稿におけるインターネット情報の最終アクセス日は、2020年1月14日である。

¹ Civil Partnership Act 2004 c.33. <<http://www.legislation.gov.uk/ukpga/2004/33/contents>>

² Marriage (Same Sex Couples) Act 2013 c.30. <<http://www.legislation.gov.uk/ukpga/2013/30/contents>>

³ なお、イギリスの他の地方に関して、スコットランドは「2014年婚姻及びシビル・パートナーシップ（スコットランド）法」（Marriage and Civil Partnership (Scotland) Act 2014 asp 5. <<http://www.legislation.gov.uk/asp/2014/5/contents>>）、北アイルランドは「2019年北アイルランド（行政府組織等）法」（Northern Ireland (Executive Formation etc) Act 2019 c.22. <<http://www.legislation.gov.uk/ukpga/2019/22/contents>>）の制定を経て、同性間の婚姻が認められるようになった。以下、本稿では、原則として、イギリスの人口の約89%を占めるイングランドとウェールズについて記述する。

⁴ R (on the application of Steinfeld and Keidan) (Appellants) v Secretary of State for the International Development (in substitution for the Home Secretary and the Education Secretary) (Respondent) [2018] UKSC 32 <<https://www.supremecourt.uk/cases/docs/uksc-2017-0060-judgment.pdf>>

⁵ Civil Partnerships, Marriages and Deaths (Registration etc) Act 2019 c.12. <<http://www.legislation.gov.uk/ukpga/2019/12/contents/enacted>> 同法の制定に至るより詳細な経緯等に関しては、芦田淳「立法情報【イギリス】婚姻登録、シビル・パートナーシップ等に関する法改正」『外国の立法』No.280-2, 2019.8, pp.18-19. <https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_11338355_po_02800209.pdf?contentNo=1&alternativeNo=>> を参照。

⁶ 規則は、議会制定法により委任された権限に基づき制定された二次的な立法であるが、議会制定法の一部を改正することができる。

⁷ The Civil Partnership (Opposite-sex Couples) Regulations 2019 No.1458. <<http://www.legislation.gov.uk/uksi/2019/1458/contents/made>>

⁸ なお、2019年12月、北アイルランドについても異性間のシビル・パートナーシップ制度を実現する「2019年婚姻

(1) シビル・パートナーシップの登録等（第3条～第6条）

シビル・パートナーシップを「同性の2人の間の関係」と定義した2004年法の規定から「同性の」という語を削るとともに、シビル・パートナーシップの登録に際して「同性でないこと」を欠格事由としていた規定を廃止した。また、他国において締結された類似のパートナーシップ⁹を国内で効力を有するものとして承認するに当たっても、締結時に当事者が同性であったことを要求する2004年法の規定を廃止した。

(2) 宗教団体の自由の保護（第7条～第11条）

2004年法は、制定当初、シビル・パートナーシップの非宗教性にかんがみ、宗教施設におけるシビル・パートナーシップの登録を認めていなかった。しかし、2010年平等法¹⁰及び「2011年婚姻及びシビル・パートナーシップ（認可施設）（改正）規則」¹¹により、宗教施設においても登録が可能となった。ただし、宗教施設での登録に当たっては、その宗教団体の同意が必要であり、当該団体は登録を望む者から（人権侵害等を理由に）登録を強制されることはないこと定められた。2019年規則は、2004年法等の関係規定を改正し、宗教団体が、望まない場合に、同性間若しくは異性間又はその双方のシビル・パートナーシップの登録を自らの施設で行うことを強制されないこととした。

(3) シビル・パートナーシップの効果（第12条～第22条）

親子関係に関しては1976年嫡出法¹²等の改正により、親としての責任及び出生登録に関しては1989年児童法¹³等の改正により、異性間の婚姻と同様の効果を異性間のシビル・パートナーシップに付与することとした。また、1981年イギリス国籍法¹⁴を改正し、子の国籍取得に際して、その子の母親のシビル・パートナー（男性）を、子の父親と見なすこととした。

(4) 性別変更との関係（第23条～第36条）

2004年性別承認法¹⁵を改正して、シビル・パートナーシップの一方の当事者が、他方の当事者の同意があれば、当該パートナーシップを解消することなく、性別の変更を行えるようにした。従来は、シビル・パートナーシップが同性間に限定されていたため、同日に両当事者が性別変更を申請しない限り、当該パートナーシップを維持したままでの変更ができなかった。

参考文献

・ *Explanatory Memorandum to the Civil Partnership (Opposite-sex Couples) Regulations 2019 No.1458*. <http://www.legislation.gov.uk/ukxi/2019/1458/pdfs/ukxiem_20191458_en.pdf>

（同性カップル）及びシビル・パートナーシップ（異性カップル）（北アイルランド）規則（The Marriage (Same-sex Couples) and Civil Partnership (Opposite-sex Couples) (Northern Ireland) Regulations 2019 No.1514. <<http://www.legislation.gov.uk/ukxi/2019/1514/contents/made>>）が制定されており、スコットランドについても同様の目的に立った「シビル・パートナーシップ（スコットランド）法案」（Civil Partnership (Scotland) Bill. <<https://www.parliament.scot/parliamentarybusiness/Bills/112997.aspx>>）が2019年9月に提出されている。

⁹ 2004年法で列挙されている他国のパートナーシップ制度には、例えば、同性カップル及び異性カップルのいずれにも適用されるフランスの民事連帯契約のような制度も含まれている。なお、民事連帯契約とは、「異性又は同性の、成年に達した2人の自然人による、共同生活を送る旨の契約」である。鳥澤孝之「諸外国の同性パートナーシップ制度」『レファレンス』711号, 2010.4, p.33. <https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_3050264_po_071102.pdf?contentNo=1>

¹⁰ Equality Act 2010 c.15. <<http://www.legislation.gov.uk/ukpga/2010/15/contents>>

¹¹ The Marriages and Civil Partnerships (Approved Premises) (Amendment) Regulations 2011 No.2661. <<http://www.legislation.gov.uk/ukxi/2011/2661/regulation/2/made>>

¹² Legitimacy Act 1976 c.31. <<http://www.legislation.gov.uk/ukpga/1976/31/contents>>

¹³ Children Act 1989 c.41. <<http://www.legislation.gov.uk/ukpga/1989/41/contents>>

¹⁴ British Nationality Act 1981 c.61. <<http://www.legislation.gov.uk/ukpga/1981/61/contents>>

¹⁵ Gender Recognition Act 2004 c.7. <<http://www.legislation.gov.uk/ukpga/2004/7/contents>>